

議長に林 富司 議員 副議長に高橋清一朗 議員 を選出

6月定例会において、野田貞之議長・間正始副議長から辞職願が提出され、正副議長選挙の結果、新議長に林富司議員(平政クラブ)、新副議長に高橋清一朗議員(創政倶楽部)が選出されました。また、委員会の委員長等の互選や一部事務組合議会議員の選挙なども行われました。

◆正副議長の紹介◆

林富司議長は、平成7年旧本庄市議会議員に初当選以来、4期目。17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会委員長等を歴任しています。

また、高橋清一朗副議長は、平成11年旧児玉町議会議員に初当選以来、4期目。17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会副委員長等を歴任しています。

◆委員長の互選など◆

議会運営委員会及び特別委員会の委員長等の互選や委員の選任が行われました。該当者は次のとおりです。

◎議会運営委員会

委員長 木村 広二

◎17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

委員長 青木 清志

副委員長 設楽 孝行

委員 野田 貞之

委員 堀口 勝司

委員 早野 清

委員 早野 清

◆一部事務組合

◎児玉郡市広域市町村圏組合議会
議長 1名の補欠選挙
選出議員 早野 清

◎埼玉県都市競艇組合議会
議長 1名の補欠選挙
選出議員 林 富司



副議長
高橋清一朗



議長
林 富司

議員提出議案

定例会最終日に、「最低賃金制度に関する意見書」及び「本庄市議会委員会条例の一部を改正する条例」の2議案が議員から提出され、原案どおり可決されました。

◆最低賃金制度に関する意見書(抜粋)◆

まじめに働いても生活保護水準の収入さえ得られないワーキングプア(働く貧困層)が広がる中、主要国では「最低賃金」の引き上げが焦点になっている。ヨーロッパ諸国は最低賃金を、当面、労働者の平均的所得の5割に引き上げ、さらに6割を目指すことを決めている。こうした流れの中で、日本だけが取り残され、32%という最低賃金は、世界でも最低水準の国になっている。よって、国においては本制度の意義・目的を踏まえ、最低賃金制度の趣旨及び内容の周知徹底並びに監督体制の拡充など制度の充実を図るとともに、適正な地域最低賃金の金額水準を確保されるよう強く要望する。

◆議会閉会中のごきぎ◆

◎厚生常任委員会

本市における高齢者及び児童福祉対策を調査研究するため、6月13日の委員会時に、市執行部(介護いきがい課・保育課)から高齢者及び児童福祉についての所管事務調査を行いました。詳細な調査を行う必要があるため、議会閉会中の7月23日から25日の3日間の日程で、先進地の行政視察を行いました。なお、9月定例会には、調査報告書を議長に提出する予定です。

視察地及び調査項目

- 青森県青森市
- 高齢者の住環境整備について
- 秋田県能代市
- 複合福祉施設整備について
- 秋田県秋田市
- 敬老事業について

◆◆◆It's New◆◆◆

インターネットによる議会中継が始まりました。
○市議会定例会一般質問の録画中継がインターネットでご覧頂けるようになりました。
市ホームページから市議会のページを開き、「一般質問の録画配信」の項目からアクセスしてください。
○平成19年3月定例会の一般質問から視聴できます。

◆◆◆9月定例会の予定◆◆◆

9月 3日 (月)	10:00~	議案説明
9月 4日 (火)	10:00~	議案質疑
9月14日 (金)	9:30~	一般質問
9月18日 (火)	9:30~	一般質問
9月19日 (水)	9:30~	一般質問
9月21日 (金)	10:00~	議案採決

編集後記

「聞く」という字は門に耳と書きます。門の中から聞こえてくるお説教を門扉に耳をそばだてて聴く姿であるといわれています。ルールを表す「八」の下でものを云う処を「会」という説があります。「義し悪し」を言う処を議会というならば、市民の生活の「義し悪し」を語っている門に耳をそばだてる事も必要ではないでしょうか。

本号は本誌の発行が広報広聴委員会に付託されて2回目の発行となります。議会の傍聴が出来ない方のためにインターネットによる議会配信も始まり、門中の議論も聞きやすくなったと思われまふ。早秋の夜長、寸暇に耳を傾けてくだされば幸いです。

副議長	委員長	副委員長	委員
高橋 清一朗	鈴木 常夫	木村 光一	沼田 好一
林 富司	大田 伸好	高橋 和輝	早野 美典
設楽 孝行	高橋 清美	早野 清美	富司 清一